

令和6年度 指定管理者 実績評価シート

No.	98					
施設名	高山市水道施設	担当課	上水道課		内線	2254
		地域名	全市地域			
指定管理者	(株)高山管設備グループ					

1 施設の概要

施設所在地	高山市下切町1925					
設置目的	水道水の供給					
施設の概要	水道水の元となる原水を取水する施設(取水施設)、取水した原水を浄水する施設(浄水施設)、浄水した水道水を貯留する施設(配水池)、原水や浄水した水道水を送る施設(導水・送配水施設)					
公共施設等総合管理計画	施設のあり方	方針	継続	時期	—	重要度の高い施設については、予防保全による施設の安定稼働を図る。

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成 18 年 4 月		募集の方法	公募
現在の指定期間	令和 6 年度 ～ 令和 10 年度 (5 年間)			
利用料金制	無	評価区分	Ⅲ(施設管理が主である施設(上水道、市営住宅、公設卸売市場、都市・地区公園))	

3 適正な管理に関する状況

管理職員の配置						
配置人員	常勤	役員7人、社員・職員19人				
	非常勤					

業務実施状況等の随時調査の実施状況及び結果	
実施日	調査内容及び結果
9月26日	管理経費等の出納状況について、経理簿及び支出伝票により調査を実施し、改善が必要な事案が無いことを確認した
3月13日	管理経費等の出納状況について、経理簿及び支出伝票により調査を実施し、改善が必要な事案が無いことを確認した

4 管理水準の向上に関する状況

業務計画における達成状況						
実施目標		達成状況				
基本目標を3つのA(安心・安全・安定)と定め「いつでもどこでもおいしい水道」が継続して利用できるよう維持管理に努める。 水道水の品質管理を強化する為、国の水質基準を参考に独自で自主指標値を定め、達成に向け努力する。		停電や突発事故発生時には、弁操作による配水管理により断水を最小限に抑えることができた。 法定水質基準より厳しい水質管理基準を設定し、水質の安定に努めた。				

施設の管理に対する改善提案・取り組み						
改善提案		取り組み状況				
維持管理における事故未然防止の為、危険箇所、危険行動を指摘する自主安全パトロールと指摘事項集中対策を年2回実施した。 二人作業時における安全確保の為、安否確認連絡をルール化し、緊急時にスムーズに対応できるよう取り組んだ。		事故を未然に防止する対策を行った。 定時に安否確認連絡をすることが定着し、職員の安全意識が高まった。				

5 利用促進・サービス向上に関する状況

モニタリング調査結果								
方法	アンケート	方法	施設見学引率者、ホームページのアンケートフォーム			件数	82 件	
	その他の手法							
	意見交換会							
アンケート結果(%)		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
①	高山市の水道水について(浄水場見学引率者)	96.9		3.1				100
②	水道水の信頼度(HPアンケートフォーム)	94.0	6.0					100
③								
利用者等からの要望・意見と対応		要望・意見				対応		
指定管理者に対する意見	①	いつも美味しい水をありがとうございます。				特に対応が必要となる意見なし		
	②							
	③							
市に対する意見	①	全国的にPFOS、PFOAが話題となっています。高山は大丈夫なのでしょうか。				水道水源の水質検査を実施(未検出)		
	②							
	③							

自主事業の実施状況					
実施内容		実績及び評価			
自主安全教育の実施、小学生への水道啓発活動、花壇等の環境整備		小学生向けの水道施設の見学を実施し、水道事業の啓発活動を行った。(14校 672人)			

6 安定した管理能力に関する状況

人材育成の状況					
実施内容		対象・回数など			
水道技術教育		職員を対象として年6回			
危機管理、安全管理教育		職員を対象として年6回			
資格取得教育		職員を対象として随時			

地域との連携・取り組み内容					
取り組み		結果・成果			
施設周辺的美観の維持の為、環境美化活動を実施した。		施設周辺の道路清掃や植栽の伐採を実施した。			

7 収支に関する状況(経費の縮減) (単位:千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な内容
収入	使用料					
	指定管理料	479,141	527,113	528,214	516,425	減額変更
	その他	3	3	135	199	預金利子等
収入合計		479,144	527,116	528,349	516,624	
支出	人件費	143,861	145,672	148,939	159,224	給料
	事務費	14,849	14,381	17,654	11,024	消耗品他
	管理費	294,377	350,047	313,000	336,021	電気使用料他
	事業費					
	公租公課	3,400	2,700	2,162	1,557	消費税他
	その他					
		精算金	15	25	35,964	5 精算項目不用分
		納入金				
支出合計		456,502	512,825	517,719	507,831	
指定管理業務収支		22,642	14,291	10,630	8,793	
自主事業収支		△329	△234	△228	△131	
全体収支		22,313	14,057	10,402	8,662	
〔法人税〕		6,502	4,346	3,118	1,261	

8 指定管理者の評価					
項目	評価	前年	評価に対する内容		
適正な管理(40)	b (30.0)	b	水道施設の機能を維持し、事故なく適切な施設管理を行った。また、停電時や突発事故において断水が予測される場合に、弁操作による運転管理により断水を最小限に抑えるなど臨機の対応を行った。		
管理水準の向上(20)	c+ (13.0)	b	安心安全な水道水の安定供給を目指して、国が定める水質基準より厳しい自主水質管理目標値を設定し重点管理することで、水質の安全性の向上を図った。		
利用促進・サービス向上(10)	b (7.5)	b	学校単位の水道施設見学だけでなく、個別見学にも対応した。また、見学者に対して浄水のしくみを紙芝居や実験を用いて説明したことで好評を頂いた。前年度に比べ、利用者アンケートの回答数が増加した。		
安定した管理能力(20)	b (15.0)	b	施設管理能力の向上を図るため、水道技術や危機管理、安全対策に関する教育を実施するとともに、社員の資格取得、スキルアップに向けたサポートを行った。		
経費の縮減(10)	b (7.5)	b	デマンド監視による効率的な運転管理と電力会社との相対契約により、主経費である電気使用料の縮減に努めている。		
総合評価	B (73.0)	B	市域に散在する水道施設を適正かつ効率的に管理運営したことに加え、異常発生時においても適切な対応により断水を極力回避し、水道水の安定供給を行っている。		